

学校 教育 目標	わたしが、みんなが、かがやく 矢向の森					
	○学ぶ楽しさを知り、自分の考えを深める子を育てます。(知) ○自分が好き、友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。(徳) ○心と体の健康を守り、自他の生命を大切にすることを育てます。(体) ○まちの人やものを大切に、共に生きる子を育てます。(公) ○様々な人と自分からすすんでコミュニケーションがとれる子を育てます。(開)					
学校 概要	創立 76 周年	学校長	工藤 雅彦	副校長	小嶋 千里	2 学期制 一般学級：27 個別支援学級：4
	児童生徒数： 908 人	主な関係校： 矢向中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<主体的に行動する力> ・考えを構築する力 ・多様な方法で考えを伝える力 ・協働的に学ぶ力 ・自分や他者のよさを認める力 ・やりきる力	矢向中学校 矢向小学校 新鶴見小学校	○輝く未来を切り拓く、たくましい子 ・学習指導要領に則り、小中一貫カリキュラムに向けた教育を実践します。 ・児童生徒指導についての研修会をもち、情報共有を深めます。 ・小中学校での合同行事を実施し、児童生徒の交流活動を促進します。 ・教科領域において小中合同研究協議を行います。

中期 取組 目標	○全教職員が自立とチームワークを基盤としながら、主体的に学校経営に参画し、「チーム矢向」として、チーム力を生かして「活力」「魅力」ある学校づくりを推進します。 ○基本的な学習内容の定着並びに学力の向上に向け、授業改善を通して、授業力の向上を目指します。 ○人権尊重を基盤にした教育活動を通して、「自尊感情」や「思いやりの気持ち」をもてる児童の育成を目指します。 ○家庭・地域・関係機関や公共施設と交流・連携を深め、開かれた学校づくりを推進します。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①TT、取り出し等個に応じた指導の充実を図る。②地域を活用した学習や体験的学習を展開することで子どもが主体的に学ぶ力を育成する。③重点研究を通して、学びに向かう意欲が高まる単元づくりを行い、主体的に行動する力の育成に向けたカリキュラムマネジメントを推進する。
担当 学力向上部・カリマネ推進委員会	
豊かな心	①各教科で人権教育を基盤とした授業を行い、家庭と連携しながら人権感覚・人権意識の高揚を図る。②地域が関わる活動を活用し、地域の方と触れ合い、地域愛を育てる。③YPアセスメントを活用し、一人ひとりに寄り添った丁寧な指導を行い、自己肯定感、他者意識の向上を図る。
担当 心育成部	
健やかな体	①休み時間を活用した体力を高めるための活動を児童が企画実行できるよう支援し、体力向上並びに生活習慣の向上を図る。②学校保健委員会を中心に怪我の予防についての活動を行ったり、養護教諭、栄養技師と連携し、保健・安全・衛生や食育に対する関心を高めたりする。
担当 健康体力安全部	
特別支援教育	①特別支援教育の必要な児童の情報共有をし必要に応じて援助チームを活用したり、個別指導計画に基づいて指導を行ったりする。②教室環境や学習の流れのユニバーサルデザイン化を図り、学習環境の整備やルールの共通理解を推進する。④国際教室のさらなる充実を図る。
担当 コーディネーター連絡会	
児童指導	①全教職員が「矢向小ガイドブック」・いじめ防止基本方針を共有して、軸のぶれない指導を行う。②児童の情報共有を共通理解し、一人ひとりを細やかに組織で支援するために、即時的、定期的な情報交換を行う。③関係諸機関と連携し、必要に応じてケース会議を行い、課題解決を図る。
担当 心育成部	
地域連携	①地域の方による学習支援を活かしながら、地域学習や歴史学習、音楽学習、環境学習、キャリア学習の充実を図る。②地域の畑を活用した野菜栽培、ホタルの飼育と観賞、矢向小サポーターズと消防署、区役所と連携した防災事業を実施し、学びの深化を図る。
担当 教務部	
教育環境整備	①児童数・学級数増に向け教室化工事や給食室設備の整備を行い、特別教室使用割り当て、学校行事、校外学習や宿泊学習の課題の改善を行う。②老朽化した施設や消耗した備品、不要物の廃棄等をチェックし、予算化して改善していく。
担当 教務部・施設改善委員会	
豊かな心	①一言コミュニケーションとして、様々な場面で自分から挨拶ができるように指導する。②温かな人間関係・自己有用感を育てるよう、他学年や幼・保、中との交流の場やかかわりを充実させていく。
担当 心育成部	
いじめへの対応	①いじめ防止基本方針を共通理解し、多様な視点で児童の状況をとらえ、児童や保護者に寄り添って、組織的な支援体制で関係諸機関と連携・協働しながら早期発見・解決や未然防止に努める。②いじめ防止対策委員会を定期的に開催し、情報共有しながら、実態把握、再発防止に努める。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①各種職員研修を年間計画に位置づけ、教職員の危機管理意識、人権意識の向上を図る。②メンターチームの充実とミドルリーダーの学校経営参画を推進する。(学校組織再編や担当業務の分散化による会議・作業等の効率化を検証する。ミライムを活用し打合わせの簡略化を図る。職員個々のワークライフバランスを支援する。)
担当 教務部・メンターチーム	